

雨風に耐えて鍛えて幸せの花を育てん

「主体的・対話的で深い学び」を通して



第62回岡崎市中学校総合体育大会総合開会式 堂々と入場行進した額田中学校選手団 5月19日(土)



大観衆の中、立派に入場行進する額田中選手団

選手宣誓で集合した旗手



1年と文化部の気合いの入った応援

総体の結果

- 軟式野球の部 (境公園グラウンド) 1回戦 額田中 4-0 東海中
準々決勝 額田中 0-1 城北中 ベスト8
- ソフトテニスの部女子 (中総) 予選リーグ 0勝4敗で予選リーグ敗退
額田中 0-3 葵中 額田中 1-2 河合中
額田中 0-3 竜海中 額田中 0-3 城北中
- バレーボールの部女子 (中総) 額田中 0-2 美川中
- 剣道の部男子 (中総武道館) 予選リーグ 2敗1分で予選リーグ敗退
額田中 1敗-1 矢作中 額田中 1分-1 東海中 額田中 1敗-1 福岡中
- 剣道の部女子 (中総武道館) 予選リーグ 2敗で予選リーグ敗退
額田中 1敗-1 竜海中 額田中 1敗-1 葵中
- 卓球の部男子 (市体育館) 予選リーグ 1勝3敗で予選リーグ敗退
額田中 1-3 翔南中 額田中 2-3 岩津中
額田中 3-2 河合中 額田中 0-3 竜海中
- 卓球の部女子 (市体育館) 予選リーグ 3勝0敗で予選リーグ1位通過
額田中 3-2 葵中 額田中 3-2 六北中 額田中 3-0 竜海中
- 弓道の部男子 (中総弓道場) 決勝トーナメント1回戦 額田中 1-3 常磐中 ベスト8
男子15チーム参加 額田中Aは決勝進出でベスト8
- 弓道の部女子 (中総弓道場) 女子12チーム参加 額田中A、B、C、Dの4チームとも決勝進出
弓道部 女子 団体2位：額田B 個人2位

保護者の皆様には、総体に向けて生徒の送迎、選手への応援、ありがとうございました。
今後とも額田中学校の教育活動へのご理解とご協力をお願いします。

**「詰めの甘さ」を反省した総体。この悔しさを市長杯にぶつけましょう。
「努素心喜」の「心」と「喜」を意識して普段の練習を充実させましょう**

私は、総体の総合開会式（9：00～9：45）の後、弓道の部の競技委員長なので中総弓道場に行きました。幸田町3中学校が大会前の練習をしていました。弓道の開会式（11：15～11：30）の後、バレーボール、剣道、ソフトテニスの応援（11：30～14：00）に行きました。**私が応援に行く先々で、浦野前校長先生にお会いしました。一生懸命に声援を送られる浦野前校長先生に感謝いたします。常に、額田中学校の発展を願ってみえます。**総体の反省を生かして、この悔しさを市長杯にぶつけてほしいと思います。

バレーボールの部女子では、1セット目の前半リードしていたが、逆転され20-21からの詰めの段階で差が出ました。2セット目は、前半リードされたが、22-22に追いつき、ここから連続3点取られ、ゲームセットとなりました。粘りが出てきましたが、サーブレシーブ等で乱れ、自滅しました。自分たちの力をすべて出し切れれば、勝てる試合であったと思いました。**ここ一番の集中力**を伸ばし、この悔しさを市長杯につなげてほしいと思います。

バレーボールの部女子 額田中0-2美川中（20-25、22-25）

1セット目

9-5とリードしていました。美川中のサービスエース等で流れが変わり、18-21と逆転されました。20-21と2点追い上げ、同点にするチャンスで、スパイクミスで20-22と離され、20-25で負けました。

2セット目

出だしが悪く、13-19と嫌なムードでしたが、サービスエース等で21-21と追いつきました。ここで、一気に逆転したいところでしたが、22-22と大接戦後、連続3点取られてしまい、22-25で負けました。

次に、剣道部の応援に行きました。額田中女子はメンバー4名なので、試合前から1点先取された状態で試合に臨みました。剣道は、素人には決まり手がわからず、あっという間の決着にびっくりしました。特に、男子は動きが速く、迫力ある技に圧倒されました。気合い、集中力の大切さを感じました。

続いて、ソフトテニス部では、額田中と河合中の対戦でした。1-1の3番手勝負で、ゲームカウント2-2のファイナルゲームとなりました。あと1歩、チャンスボールを攻め切れず惜敗でした。

応援後、14時過ぎに弓道場に戻ると、予選を突破した男女共8チームが、3立目に挑んでいました。予選と決勝の合計で順位を決めました。男子の額田Aは予選12+決勝3=15中。女子の額田Aは予選12+決勝1=13中。男女共に予選の戦いはよかったが、決勝で力を出し切れなかったと思います。女子の額田Bは予選4位で、予選8+決勝7=15中と、決勝で逆転2位を勝ち取りました。男子の個人戦で優勝したのは幸田南部の選手で、12本で11中とレベルの高い結果でした。実は、男子の幸田北部中と女子の幸田中は、県弓道連盟大会で上位入賞により、夏の日本武道館での全国大会出場権を獲得しています。総体の弓道の部の大会は、幸田町内中学校が参加してくれるので、レベルの高い大会となっています。ここで、あと一歩の結果であったので、額田中の弓道部のレベルが上がっていることを確認できました。

弓道の男子は15チーム参加で、2回の立の合計で8本以上のチームが決勝進出。24本のうち13中は幸田北部A、幸田A、12中は額田A、幸田南部A、幸田Bと大接戦。決勝の3立目は、優勝の幸田北部Aは10中で合計23中。2位の幸田南部Aは10中で合計22本、額田Aは3中で合計15中。予選までの戦いはすばらしかったです。決勝の一人4本ずつ3人の12本での戦いでは、幸田北部も幸田南部も10中と、ここぞという時の集中力が抜群でした。

弓道の女子は12チーム参加で、2回の立の合計で5本以上のチームが決勝進出。24本のうち12中は幸田B、額田A、10中は幸田A、8中は額田B、7中は額田C、額田Dも5中、額田中の4チームとも決勝進出。よくがんばりました。優勝の幸田Bは7中で合計19中。2位の額田Bは7中で合計15本、額田Aは1中で合計13中。決勝での額田Bは、優勝した幸田Bと同じ7中は立派でした。額田Aは決勝の出来次第で、優勝するチャンスがありました。

弓道では、的中した本数が同じ場合、順位決定戦を行います。2チームによる団体3位決定戦は、1チーム3人が同時に行っている中数の多い方の勝利という方法（射詰）でした。5人による個人戦2位、3位決定戦では、1つの的に順番に5人が行い、「遠近法」で順位を決めました。実際、5人とも的中し、本当に中心に近い選手が上位となる方法となり、レベルの高い戦いでした。2人による個人戦優勝決定戦では、サッカーのPK線でのサドンデスのような方法でした。

5月20日（日）、境公園グラウンドでの準々決勝の額田中と城北中との野球の試合の応援に行きました。額田中は1回から6回まで毎回、フォアボール、ヒットで塁に出て、得点するチャンスがありました。しかし、このチャンスで、あと1本のヒットが出ずに、0点に抑えられました。4回表にヒットとフォアボールで1アウト満塁の大チャンス。ここでも、あと1本が出ませんでした。逆に、城北中は5回裏の2アウト2塁のチャンスにセンター前ヒットで1点を先取しました。これが決勝点となり、額田中は城北中に0-1の惜敗。本当に、押せ押せムードであったが、勝利を導くことができませんでした。

総体を振り返って、勝てそうな試合に勝ちきれなかった「詰めの甘さ」を感じました。あと一歩、よく頑張ったと思いますが、もっと勝ちにこだわらないと、「**雨風に耐えて鍛えて幸せの花を育てん**」を実現できません。**自分の力をすべて出し切る**には、どうしたらよかを真剣に考え、7月7日（土）からの市長杯に臨んでほしいと思います。「伸びる人の条件」を校長室だよりNo.7で書きました。「**努素心喜**」の「**素直**」と「**努力**」の姿は伝わってきます。「**心**」と「**喜**」を考え直してみよう。

・「**心**」は、試合で緊張しすぎないために、練習と試合の心の持ち方を同じにすることです。常に、試合の心理状態で、練習に取り組むことです。**平常心で試合に臨む努力を**しましょう。

・「**喜**」は、「**一生懸命**」です。「**一所懸命**」と言われるように、「**一つの所に命を懸けて取り組むこと**」です。**もっともっと必死に練習して、ここぞというときの集中力、勝負強さを伸ばしましょう。**